

# もりぐちぶらり歩きマップ

このガイドマップは、市民の皆さんが守口の歴史や文化に親しみ、愛着をもっていただきたいと考え、作成しました。守口市は昭和 21 年に守口町と三郷町が合併し、その後、昭和 32 年に旧庭窪町と合併し、現在の形となりました。

市内に点在する史跡や文化財、施設は、古代から現在まで守口市がどのような歴史をたどっていったのかを学ぶことができます。このマップには、市民の皆さんが気軽に歩いて、見ていただけるよういくつかのコースを設けました。これらを参考に守口市の歴史や文化財を身近に感じてみてはいかがでしょうか。

## 〈パートV 佐太・大日周辺の史跡散策コース〉

### A コース (大日を巡るコース) (約2.3km)

大阪市営地下鉄谷町線「大日駅」⇒ 5分 ⇒生涯学習情報センター(ムーブ21)⇒ 4分 ⇒白山神社⇒ 2分 ⇒教応寺⇒ 3分 ⇒藤之森碑⇒ 3分 ⇒京街道(淀川堤防上)⇒ 11分 ⇒大阪市営地下鉄谷町線「大日駅」

### B コース (佐太を巡るコース) (約3.2km)

大阪市営地下鉄谷町線「大日駅」⇒ 5分 ⇒生涯学習情報センター(ムーブ21)⇒ 8分 ⇒京街道(淀川堤防上)⇒ 12分 ⇒佐太樋門跡⇒ 7分 ⇒佐太渡し場石碑⇒ 1分 ⇒佐太天神宮⇒ 1分 ⇒菅相寺⇒ 2分 ⇒来迎寺⇒ 1分 ⇒佐太陣屋跡⇒ 3分 ⇒京阪バス「佐太天神前」バス停

### C コース (ゆっくり1日コース) (約5.9km)

大阪市営地下鉄谷町線「大日駅」⇒ 5分 ⇒生涯学習情報センター(ムーブ21)⇒ 4分 ⇒白山神社⇒ 2分 ⇒教応寺⇒ 3分 ⇒藤之森碑⇒ 3分 ⇒京街道(淀川堤防上)⇒ 12分 ⇒佐太樋門跡⇒ 7分 ⇒佐太渡し場石碑⇒ 1分 ⇒佐太天神宮⇒ 1分 ⇒菅相寺⇒ 2分 ⇒来迎寺⇒ 1分 ⇒佐太陣屋跡⇒ 3分 ⇒府道京都守口線沿い⇒ 26分 ⇒大阪市営地下鉄谷町線「大日駅」

(※時間・距離はおおよその目安です。なお、見学の時間は含んでおりません。)

## 《コース内の施設のご案内》

### ① 生涯学習情報センター(ムーブ21)

平成5年に開館した、守口市の生涯学習の中核となる施設です。図書フロアをはじめ、CD・ビデオなどの視聴覚コーナー、同時通訳設備を備えた会議室、多目的イベントホールなどの施設があり、市民の文化向上の拠点として提供されています。

開館時間は9時～21時、図書フロアは開館時間10時～20時(土・日・祝日は10時～17時)まで。休館日は月曜日(祝日の場合はその翌日)・12月29日～翌年1月3日です。入館料は無料ですが、会議室・研修室・ギャラリー・イベントホール等の施設使用につきましては別途使用料が必要です。詳しくは、生涯学習情報センター(ムーブ21)(電話:06-6905-3921、FAX:06-6909-9898)までお問い合わせ下さい。



## ② 教心寺

浄土真宗西本願寺派の末寺で、創立については明らかではありませんが、元禄15年(1702)頃に寺号を得たと推察されています。寺には「九條殿御役所殿」と書かれた木札が保存されており、五摂家の九條家との関係を示すものと考えられています。また、宝暦13年(1763)銘の喚鐘が残されており、もともと旧西成郡蒲田村にあった仏生院大願寺から買い取ったもので、「長柄の人柱」伝説が伝えられています。

## ③ 白山神社

旧の大庭六番村・三番村・四番村の氏神で、もとは現在地より北西に約300m離れた御旅所の位置にあったといわれ、今その地に



は「藤之森」の石碑が建てられています。現在の本殿は、覆屋の中に一間社流れ造の白山大権現・春日大明神の二殿が左右に並置されています。建立時期は明らかではありませんが、江戸時代中期の元禄から享保の間と見られています。

## ④ 佐太樋門跡

守口市域は昔から水は豊富にありましたが、飲料水などの生活上水には適さず、淀川から生活・農業用水を取水する必要がありました。その取水口である樋のあった場所で、記念碑は昭和5年に建てられ、裏には当時の組合区域である庭窪村大字佐太、同大字大日、同大字梶、門真村大字門真と刻まれています。

## ⑤ 佐太の渡し場石碑

かつて摂津市鳥飼と守口市佐太の間に、淀川を挟んで渡し船が運航していました。しかし道路網の整備に伴う架橋により、他にも淀川で見られた渡し船は次々と姿を消し、佐太の渡しは昭和48年に廃止されました。

## ⑥ 佐太天神宮

菅原道真が太宰府へ流される途中にしばらく舟を繋いだ処で、菅公死後の天暦年間(947～957)に菅公を慕って祠



を建てたのが当社の創建と伝えられ、室町期には大庭庄の総社として崇敬されました。現在の社殿は、領主の永井尚政・尚庸父子や豪商淀屋辰五郎等の手厚い保護や支援のもとに整備され、平成15年に本殿・拝殿・幣殿は大阪府の有形文化財に指定されました。

当社には室町時代の文安3年(1446)の箱書のある平成10年に市の有形文化財に指定した紙本著色天神縁起絵巻6巻があります。また、寛文10年(1670)の

銘がある大和守安定の作刀と、その拵の金梨子地塗糸巻太刀拵は、大阪府の指定有形文化財となっています。その他にも、江戸時代初期の重要な文化財が多数残されています。

## ⑦ 菅相寺



平安時代中期の創建と考えられ、かつては境内も広大であったらしく七坊あった内の東坊の後身とい

い、昔から佐太天神宮の宮寺で奥の院といわれていました。当初は真言宗の寺でしたが、正保元年(1644)に永井尚政が萬安禅師を招いて曹洞宗に改宗し、現在は宇治興聖寺の末寺となっています。

境内には、室町時代のもと考えられる石製露盤(花崗岩製)が残されており、極めて貴重な遺物です。

## ⑧ 来迎寺

現在は浄土宗知恩院の末寺ですが、もとは大念仏宗佐太派の総本山でした。創建は大念仏宗中興法明上人の弟子実尊誠阿



上人西願が、貞和3年(1347)に下仁和寺庄守口村に一字を建立したのが始まりといわれ、住職が代わるたびに本尊を移し(332年間に26回)、延宝6年(1678)に現在の寺地を寄進され、定堂し発展しました。

当寺には多数の文化財が伝わっており、なかでも絹本着色八幡曼荼羅図は、国の重要文化財に指定されています。また寺庭にある石造十三重塔は軸部に嘉元2年(1304)の銘文があり、鎌倉時代の石塔として大阪府有形指定文化財となっています。

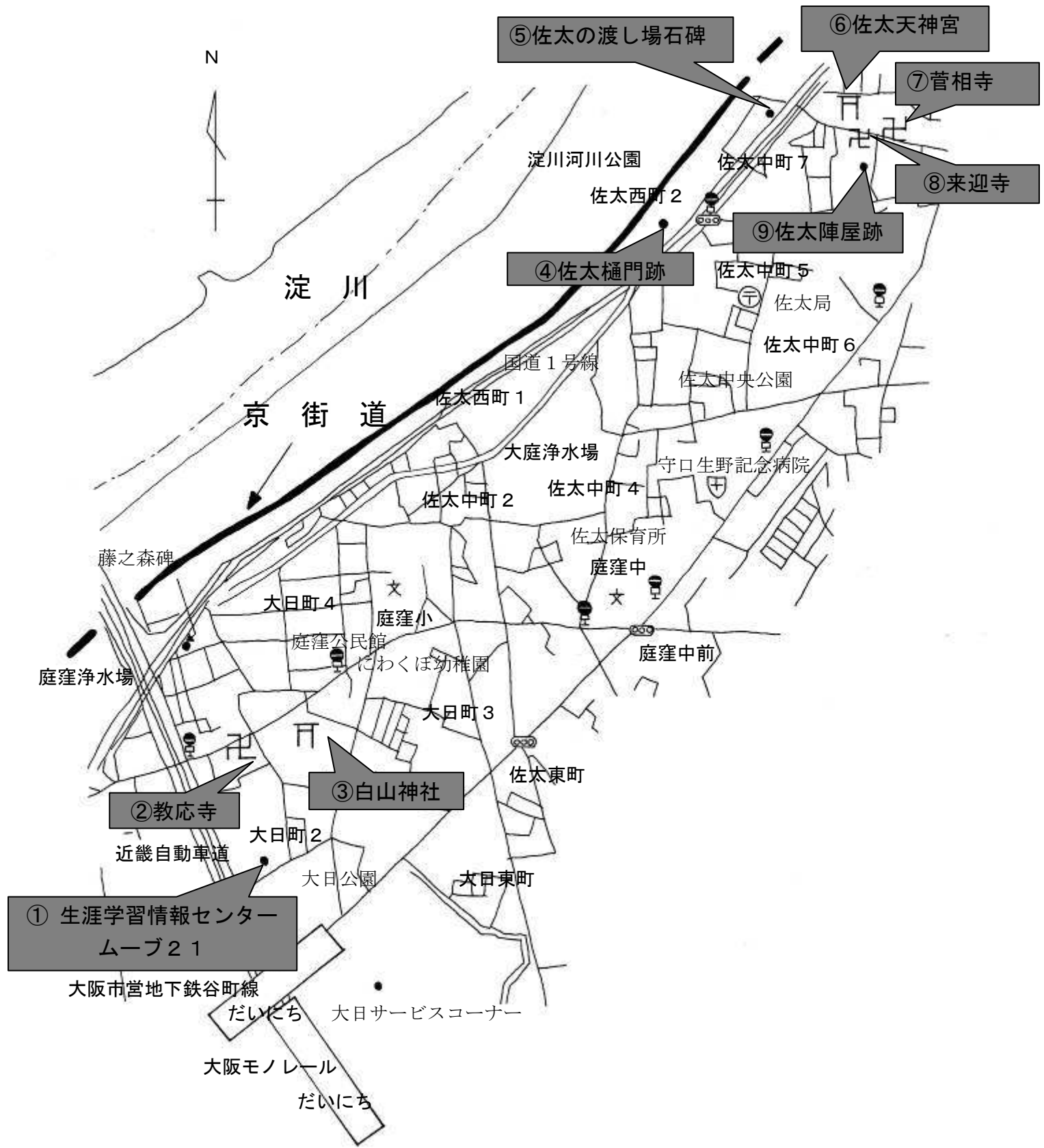
## ⑨ 佐太陣屋跡



旧大庭一番村の領主永井尚庸は貞享4年(1687)に下野烏山藩へ転封され、それまで陣屋を置いていた交野郡渚村(枚方市)は幕領となりました。そのため、

京・大坂間の交通及び軍事上の要地に適し、佐太天神宮のあるこの地に陣屋を移しました。これが佐太陣屋で、永井氏の蔵屋敷の役目も兼ね、年貢米の納入や特産物を集積し、大坂での取引や藩の金融業務など、永井氏の台所の役割を担っていました。現在は、佐太老人福祉センターとなっていますが、来迎寺との境界のところに築かれた石垣と竹藪がかるうじて昔の名残を留めています。

作成：守口市教育委員会生涯学習課(平成22年3月)



N

⑤ 佐太の渡し場石碑

⑥ 佐太天神宮

⑦ 菅相寺

⑧ 来迎寺

⑨ 佐太陣屋跡

④ 佐太樋門跡

② 教応寺

③ 白山神社

① 生涯学習情報センター  
ムーブ21

淀川

京街道

淀川河川公園

佐太西町2

佐太中町7

佐太中町5

佐太局

佐太中町6

佐太中央公園

国道1号線

佐太西町1

大庭浄水場

佐太中町2

佐太中町4

守口生野記念病院

佐太保育所

庭窪中

藤之森碑

大日町4

庭窪小

庭窪公民館

にわくほ幼稚園

庭窪浄水場

庭窪中前

大日町3

佐太東町

近畿自動車道

大日町2

大日公園

大日東町

大阪市営地下鉄谷町線

だいだち

大日サービスコーナー

大阪モノレール

だいにち